



平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月10日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 大
 コード番号 2736 URL http://www.sadamatsu.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 磯野 紘一 TEL 03 (5768) 9957
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績（平成24年9月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	1,636	△4.2	△132	—	△139	—	△104	—
24年8月期第1四半期	1,708	13.3	△83	—	△95	—	△72	—

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 △97百万円 (—%) 24年8月期第1四半期 △78百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	△9.39	—
24年8月期第1四半期	△6.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第1四半期	5,835	1,272	21.5
24年8月期	5,870	1,385	23.4

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 1,255百万円 24年8月期 1,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想（平成24年9月1日～平成25年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,100	2.2	190	10.0	170	14.8	70	22.1	6.31
通期	8,100	3.8	320	20.1	260	18.0	100	26.4	9.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年8月期1Q	11,387,000株	24年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	230,484株	24年8月期	290,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年8月期1Q	11,097,925株	24年8月期1Q	11,097,520株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年9月1日～平成24年11月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかながら改善がみられたものの、欧州の金融不安や円高の長期化、中国経済の減退傾向が続くなか、尖閣諸島をはじめとする近隣諸国との関係悪化による経済への悪影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

流通業界におきましては、雇用・所得環境の回復が足踏み状態となるなか、慎重化する消費マインドの影響により個人消費が伸び悩むなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような経済環境のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループは、中期経営計画の2年目として掲げた「成長軌道の確立」に向け、販売力の強化、ブランド力の向上、SPA体制の構築を重点施策として取り組んでまいりました。さらに、前期までの継続課題を克服し、これらの取り組みをより確かなものとするため、組織体制の再整備を実施しました。

特に成長戦略の中核を成すブランド力強化施策として、11月に当社旗艦店のある表参道ヒルズにて当社と世界有数のダイヤモンドブランド「フォーエバーマーク」との協業による新作ジュエリー”Wish upon a star featuring Forevermark”の発表会を人気モデルでタレントのローラさんを起用して開催しました。”Wish upon a star”は特別なカットによりダイヤモンドの中に2つの星が映し出される当社独自のジュエリーで「夢を叶えるダイヤモンド」として情緒的価値の訴求とブランド知名度向上を図るべく開発した当社の中心的戦略商品であります。また、このような取り組みを当社の強みとなる提案販売やCRMの強化施策と合わせて推進することで、今後の情緒的価値マーケットにおける競争優位性の確立に寄与するものと考えております。

売上高に関しては、生活防衛意識の高まりなど足元の消費環境の悪化に加え、業界内の競争激化がさらに進んだことも相俟って前年同期に比べ減少となりました。

原材料の段階的な価格上昇による利益圧迫懸念が残存するなか、ベトナム子会社の生産機能向上による同社製品の売上構成比が堅調に推移したことで商品原価は低減傾向となり、粗利率の低下を抑制することができました。しかしながら、売上高の減少をカバーするまでには至らず、売上総利益は前年同期比で減少となりました。

販売費及び一般管理費に関しては、大型のプロモーション活動に加え、クリスマス商戦に向けた集客拡大のための宣伝広告を積極的に実施したため、販売費が増加したものの、人員配置の適正化により人件費が低減するなどのバリューイノベーション戦略が奏功し、前年同期に比べ減少しました。

海外子会社である在台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松株）に関しては、グループマネジメント体制の強化施策として親会社サダマツによるマーケティング機能を拡充し、より効果的な販売政策及び商品政策を実行したことで、売上・利益ともに大きく改善しました。在ベトナム子会社のD&Q JEWELLERY Co., Ltd.（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）に関しては、SPA体制の構築に対応するため、グループシナジーの最大化を目的とした製造体制の確立を推進しました。

経常損益に影響を及ぼす営業外損益に関しましては、為替変動に伴う為替差益の発生や有利子負債の圧縮による支払利息の減少が影響し、前年同期に比べ大きく改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,636百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業損失132百万円（前年同四半期営業損失83百万円）、経常損失139百万円（前年同四半期経常損失95百万円）、四半期純損失104百万円（前年同四半期純損失72百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は5,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。その要因は主に、商品及び製品が158百万円、原材料が18百万円、繰延税金資産（流動資産及び投資その他の資産）が45百万円増加したものの、現金及び預金が258百万円減少したものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円増加いたしました。その要因は主に、未払法人税等が119百万円、支払手形及び買掛金が15百万円減少したものの、借入金の総額が209百万円増加したものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円減少いたしました。その要因は主に、四半期純損失104百万円の計上、配当金の支払22百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期決算発表時（平成24年10月12日）の予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,173,485	915,358
受取手形及び売掛金	613,712	600,029
商品及び製品	2,602,497	2,761,026
原材料	278,257	296,740
繰延税金資産	35,836	55,457
その他	83,388	98,881
貸倒引当金	△892	△862
流動資産合計	4,786,284	4,726,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	326,391	340,714
減価償却累計額	△149,283	△161,124
減損損失累計額	△4,036	△4,036
建物及び構築物（純額）	173,072	175,554
機械装置及び運搬具	44,964	44,374
減価償却累計額	△30,448	△30,692
機械装置及び運搬具（純額）	14,515	13,682
工具、器具及び備品	139,413	153,461
減価償却累計額	△90,696	△95,998
減損損失累計額	△904	△904
工具、器具及び備品（純額）	47,812	56,558
土地	90,478	90,478
リース資産	86,271	90,585
減価償却累計額	△28,331	△32,750
リース資産（純額）	57,940	57,835
有形固定資産合計	383,819	394,109
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	96,427	96,538
繰延税金資産	50,563	76,333
差入保証金	433,506	419,590
その他	96,401	100,353
貸倒引当金	△4,857	△5,226
投資その他の資産合計	672,040	687,589
固定資産合計	1,074,588	1,099,706
繰延資産	9,784	9,220
資産合計	5,870,657	5,835,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,513	646,654
短期借入金	1,937,856	2,223,108
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金及び未払費用	397,620	453,020
未払法人税等	131,659	12,420
賞与引当金	41,863	6,319
その他	204,465	183,961
流動負債合計	3,475,977	3,625,484
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	401,432	325,643
退職給付引当金	135,210	140,526
その他	122,724	121,086
固定負債合計	1,009,366	937,255
負債合計	4,485,344	4,562,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	172,979	44,623
自己株式	△27,167	△21,581
株主資本合計	1,439,905	1,317,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△409	△298
為替換算調整勘定	△68,114	△61,378
その他の包括利益累計額合計	△68,523	△61,676
新株予約権	13,931	17,359
純資産合計	1,385,313	1,272,819
負債純資産合計	5,870,657	5,835,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	1,708,035	1,636,481
売上原価	675,940	654,121
売上総利益	1,032,095	982,360
販売費及び一般管理費	1,115,324	1,115,048
営業損失(△)	△83,229	△132,688
営業外収益		
受取利息	455	300
受取家賃	285	285
協賛金収入	—	1,166
為替差益	—	3,335
その他	388	274
営業外収益合計	1,128	5,361
営業外費用		
支払利息	11,252	9,335
社債利息	218	695
社債発行費償却	—	564
社債保証料	87	841
為替差損	1,648	—
その他	5	270
営業外費用合計	13,211	11,707
経常損失(△)	△95,312	△139,033
特別損失		
その他	120	—
特別損失合計	120	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,432	△139,033
法人税、住民税及び事業税	8,964	10,518
法人税等調整額	△31,616	△45,391
法人税等合計	△22,651	△34,872
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,780	△104,160
四半期純損失(△)	△72,780	△104,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,780	△104,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179	111
為替換算調整勘定	△6,132	6,736
その他の包括利益合計	△5,953	6,847
四半期包括利益	△78,733	△97,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,733	△97,313

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。